

第48回特別展

# 瀬戸内海の 自然を楽しむ

生き物のにぎわいとその恵み  
Commune with nature in Setonaikai

平成29年

7月15日(土)~10月15日(日)



イラスト:弘岡知樹



Osaka Museum of Natural History  
大阪市立自然史博物館

ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23 TEL:06-6697-6221

●地下鉄御堂筋線「長居」3号出口・東へ約800m/JR阪和線「長居」東出口・東へ約1000m

開館時間 午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日 7/17(月)、8/14(月)、9/18(月)、10/9(月)は開館  
7/18(火)、9/19(火)、10/10(火)は休館

主催:大阪市立自然史博物館 後援:大阪府教育委員会、大阪市教育委員会 協力:船の科学館「海の学びミュージアムサポート」

URL <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/> おおさかしぜんし 検索

## 第48回特別展

# 瀬戸内海の自然を楽しむ

生き物のにぎわいとその恵み  
Commune with nature in Setonaikai

西日本の中心に広がる瀬戸内海は、外海とは切り離された、全体としては波の穏やかな海です。しかし、そこには700を超える島々、海峡、複雑な海底地形があり、さらには潮流を生み出しています。このような環境は、瀬戸内海に豊かな海の恵みと高い生物多様性をもたらしています。沿岸にすむ人々は、古くからその恩恵を受けて暮らしてきました。大阪市立自然史博物館では瀬戸内海沿岸の博物館・水族館等と連携し、2012年から5年をかけて市民参加の観察会や調査会などを行い、多くの情報や標本資料を蓄積してきました。今回の特別展では、私たちが瀬戸内海で見つけてきた多様な魅力的な自然、そして恵みを存分にご紹介します。

### 主な展示

#### 瀬戸内海の自然

瀬戸内海を構成する自然環境として砂浜、干潟、塩湿地、磯、アマモ場、ガラモ場などを取り上げ、環境ごとに見られる生き物を紹介します。



塩湿地に咲くハマボウ

瀬戸内海海底地形模型

#### 瀬戸内海の漁業

瀬戸内海では様々な漁業が行われ、魚介類をそだてる養殖も盛んです。海の恵みを利用する営みについて、実物の漁具や映像なども交えて紹介します。



瀬戸内海を代表する魚 サワラ

広島で養殖中の状態で保存処理したマガキ

貝屋さんごっこができる「瀬戸内海の貝屋さん」コーナー

#### 消えた風景

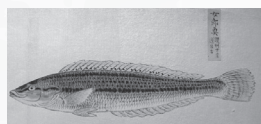
生業や産業の変化、開発によって消えてしまった風景があります。見島湾を始めとして、各地で継承・保存されてきた貴重な資料とともに紹介します。

#### 抱える問題と解決に向けて

自然海岸の減少、水質の維持、貧酸素現象、外来生物の増加など、瀬戸内海が抱える問題、そして解決に向けた道筋や取り組みについて紹介します。

#### 瀬戸内海を調べよう

多様で豊かな瀬戸内海の自然は、古くから人々の知的好奇心の的でもありました。江戸時代から現在までの様々な調査活動とその成果を紹介します。



高松藩主が幕府に献上した魚類図「衆鱗手鑑」  
(所蔵：東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所)

### 関連イベント

#### 特別展記念講演会

##### 「播磨灘の漁場環境変化による漁業生産への影響とその対策」

講師：原田和弘氏(兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター)

瀬戸内海の漁場環境は、かつての汚濁が進んだ時代と比べると改善してきましたが、ノリ生産の不調や漁獲量減少などの問題が生じています。講演では播磨灘を例に、漁場の環境変化が漁業生産に与えている影響を紹介いたします。

##### 「瀬戸内海の腕足類」

講師：吉松定昭氏(元香川県水産試験場)

腕足類は古生代に繁栄していましたが、現生種は約350種とされます。現在、瀬戸内海にはシャミセンガイの一種を含む2種が生息しています。最近観察例が増加している生息状況の推移を、プランクトン期幼生の調査結果を交えて紹介します。

日時 7月15日(土)午後2時～4時30分

会場 自然史博物館本館 講堂

対象 どなたでも参加できます

参加費 無料(ただし博物館入館料が必要)

申込み 不要。直接会場へお越しください

共催 大阪湾海岸生物研究会

#### ギャラリートーク

展示を担当したさまざまな分野の学芸員が、テーマを絞った展示解説を行います。

7月	15日(土) 無脊椎動物	22日(土) 植物	29日(土) 鳥類	—	—
8月	5日(土) 植物	12日(土) 地質	19日(土) 鯨類	26日(土) 無脊椎動物	—
9月	2日(土) 魚類	9日(土) 地質	16日(土) 植物	23日(土) 魚類	30日(土) 昆虫
10月	7日(土) 昆虫	14日(土) 植物	—	—	—

※分野は変更になる場合がございます。

時間 午後0時30分～1時

会場 特別展会場

#### その他イベント

- 自然史オープンセミナー(6月)「瀬戸内海の自然：地形・地質と昆虫」  
6月10日(土)午後1時～2時30分
- 自然史学会連合講演会  
8月19日(土)午後1時～4時10分
- 自然史オープンセミナー(9月)「瀬戸内海の自然：植物」(予定)  
9月9日(土)午後1時～2時30分
- 自然史オープンセミナー(10月)「瀬戸内海の自然：鳥類・魚類」(予定)  
10月14日(土)午後1時～2時30分
- 子どもワークショップ  
各行事の詳細は博物館ホームページ(<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>)をご覧ください。

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日 7/17(月)、8/14(月)、9/18(月)、10/9(月)は開館  
7/18(火)、9/19(火)、10/10(火)は休館

観覧料 大人500円/高校生・大学生300円/中学生以下無料

期間内特別展フリーパス(大人1000円/高校生・大学生600円)  
常設展や植物園も見られるセット券(大人700円/高校生・大学生400円)

※障がい者手帳などをお持ちの方(介護者1名を含む)、大阪市内在住の65歳以上の方(要証明)は無料  
※博物館本館(常設展)、長居植物園への入場は別途料金が必要です(セット券を除く)

おおさかしりつしぜんしはくぶつかん  
**大阪市立自然史博物館**  
ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23 TEL:06-6697-6221  
地下鉄御堂筋線「長居」3号出口・東へ約800m/JR阪和線「長居」東出口・東へ約1000m

